

大和川では特に水質が悪くなる2月を「水質改善強化月間」とし、流域全体で生活排水を減らすための啓発活動を実施しています。その活動の一環で実施している「大和川水環境改善活動発表・研究・交流会2013」を2月23日（土）、王寺町地域交流センターで開催しました。

当交流会は、大和川の水環境改善に向けた取り組みや環境学習を通じた川づくり、地域づくりについて発表・意見交換を行うことで、大和川の水環境について世代を超えて考えていただくことを目的としており、今回で4回目となりました。

今年は「生きものの人でにぎわう大和川～大和川がつなく、山と海～」というテーマで開催し、約120人の参加者のみなさまと様々な意見交換を行うことができました。

プログラム：13:00～17:00

【第1部：研究発表】

- 大和川の魚たち一次世代につなぐー
- 大和川河口域に造成された浅場におけるアユ稚魚の出現状況
- ひそかに大和川をのっとる魚たち

【第2部：活動発表】

- 堺・水辺の楽校の取組み
 - 人・もの・街・自然・命をつなぐ飛鳥川ーホテル再生の取組みー
- 【ポスターセッション&活動パネル展】

【第3部：学生が語る！大和川の水環境（パネルディスカッション）】

テーマ：生きものの人でにぎわう大和川をつくるために

主催：国土交通省近畿地方整備局大和川河川事務所

共催：大和川水環境協議会

（近畿地方整備局・大阪府・奈良県・流域市町村）

協力：大和川市民ネットワーク、大和川天然アユ研究会、大和川水辺の楽校協議会

後援：公益社団法人土木学会関西支部

公益社団法人日本水産学会近畿支部

イベントの概要

交流会は3部構成で、第1部は基調講演のほか大和川流域で生きものの調査研究を行っている方々の研究発表、第2部は川の生きものを中心として環境学習や活動を行っている方々の活動紹介、第3部は、「学生が語る！大和川の水環境」と称して、大和川周辺で研究や環境教育などの活動に取り組んでいる学生のみなさんを囲んでパネルディスカッションを実施しました。

また、第3部に入る前に交流を兼ねてのポスターセッションを行い、パネル展示の前で日頃の活動報告や意見交換をしていただきました。

【第1部：研究発表】

『大和川の魚たち一次世代につなぐー』



大阪教育大学名誉教授 長田 芳和氏

淡水魚の生態に関する研究をされている長田氏から、大和川にすむ魚たちについて、貴重な映像を交えながら、卵を守る親、守らない親、他種に託す親など、自然界で生き抜くための営みや習性などを解説していただきました。



長田氏

『大和川河口域に造成された浅場におけるアユ稚魚の出現状況』



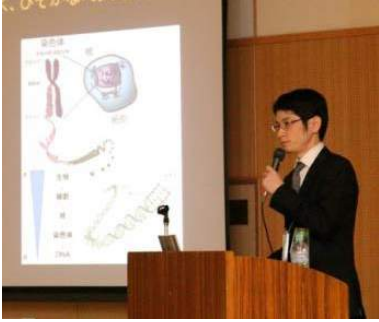
（地独）大阪府立環境農林水産総合研究所主任研究員
大美 博昭氏

天然アユ遡上の確認がきっかけとなり進みだした、産卵場づくりなど大和川で天然アユを増やすための取組みの状況について解説していただきました。



大美氏

『ひそかに大和川をのっとる魚たち』



近畿大学農学部准教授 北川 忠生氏

DNA分析でわかった、魚たちの大和川水系固有の遺伝子が他水系の魚と交雑しつつある状況や外来種の実情などを解説していただきました。



北川氏

アンケートより（第1部について）

- ・ 普段みれない貴重な魚数と産卵シーンが興味深かった。
- ・ おもしろい、時間不足で残念です。
- ・ 産卵期に卵を食べにくる魚がいることを初めて知った。
- ・ 自身の知っている以上の多種の魚が生息していることが良くわかった。
- ・ 大和川に隣接する会社で働く者として大和川でのアユ出現には興味深いものがある。
- ・ 自然再生の取組みにすごく興味をもてた。
- ・ 外来種の魚など本来その地域にいない在来種であっても生態系をかえている事がわかった。
- ・ 吉野川の影響がこんなに大和川に及んでいるので驚いた。
- ・ 着眼点が面白くてよかった。これからの人と自然とのかかわり方を考えるひとつの視点を学べた。

【第2部：活動発表】

『堺・水辺の楽校の取組み』



大和川水辺の楽校協議会会長 亀井 哲夫氏

大和川の下流、堺市にある「水辺の楽校」で川の生きものを中心として、地域の大学などと連携しながら環境学習に取り組んでいる様子を報告していただきました。



亀井氏

『人・もの・街・自然・命をつなぐ飛鳥川—ホテル再生の取組み—』



特定非営利活動法人ASUKA自然塾 松本 清二氏

大和川の支流、飛鳥川をフィールドに、街づくりの一環で取り組んできたホテル再生への取組みや、繁殖の過程でわかってきたホテルの生態などについて報告していただきました。



松本氏

アンケートより（第2部について）

- ・ 子どもが親しめる活動は素晴らしい。今後も続けてほしい。
- ・ 地域でサポートする人がおられるのが素晴らしい。
- ・ 多くの自然と共生する知恵がホテル等の環境保全につながると思った。
- ・ ホテルの生態がよくわかり、ザリガニが天敵とは興味深い。

【第3部：学生が語る！大和川の水環境（パネルディスカッション）】

テーマ：生きものと人でにぎわう大和川をつくるために

第3部は大和川周辺で活動・研究をされている大学生・大学院生・専門学生の7人にパネリストとして参加していただきました。アユの産卵場づくりやホテル再生、ニッポンバラタナゴの保護活動や水辺の楽校での環境学習、流域連携活動や材料研究、高田川で魚へ興味を持ち水圏生態研究に進んだ学生など、個々の研究や活動、知識、体験を踏まえて学生間、参加者で理想の川の姿を議論しました。「生きものや自然との共生がある方がいい」との声が出る中、「その段階で良かった施策が後世では別の評価をされる可能性がある」との声もありました。また、外来種対応では「命の問題は」「種の保存を人間が決めるのはどうか」などの意見が出ました。



池田氏



板谷氏



乾氏



小笠原氏



清住氏



平塚氏



松本氏

【パネリスト】

- | | | | |
|-----------------|---------|--------------------|--------|
| ・近畿大学大学院農学研究科 | 池田 昌史氏 | ・大阪動植物海洋専門学校水生生物学科 | 清住 慎司氏 |
| ・大阪市立大学大学院工学研究科 | 板谷 天馬氏 | ・奈良女子大学ホテル同好会 | 平塚 安氏 |
| ・近畿大学大学院農学研究科 | 乾 偉大氏 | ・近畿大学大学院総合理工学研究科 | 松本 嶺氏 |
| ・摂南大学大学院工学研究科 | 小笠原 裕介氏 | | |

【コーディネーター】



大阪市立大学大学院工学研究科教授
矢持 進氏

【サポーター】



大和川市民ネットワーク代表
澤井 健二氏



大和川水辺の楽校協議会会長
亀井 哲夫氏



「理想の都市河川とは」「自然と人間との共存とは何か」「時代により価値の評価が変わる」など、鋭い指摘などがありました。



「外来種の問題について」「環境技術との共生は」など人間が生み出した様々な問題に、それぞれの立場の方々から意見が寄せられました。



学生たちから逆に、会場の活動団体の方々へ、活動継続の秘訣を教えてくださいとの問いかけもありました。

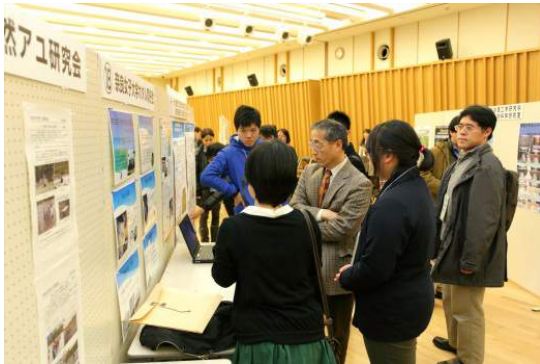


アンケートより（第3部について）

- ・目新しい取組みでよかった。
- ・学生の取組みにすごく未来が頼もしいと思いました。
- ・いろいろな意見がきけてよかった。
- ・よい意見が多くてすごく感心した。

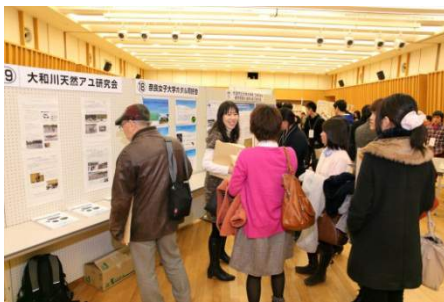
ポスターセッション

大和川を拠点に活動されている大阪・奈良の25団体に参加していただき、活動の解説や、調査の様子、研究成果など、それぞれの内容をわかりやすく発表していただきました。



ブースには映像も登場。貴重な動画に見入る参加者のみなさん。

ご自分の研究内容や活動を解説するみなさん。熱心に説明する様子が伝わってきます。



当日は大学関係の出展も多く、学生どうしの交流はもちろん、多くの活動団体の方々とも積極的に情報交換をされていました。



【活動パネル展の出展団体】

- ・ アクアフレンズ
- ・ 橿原市昆虫館
- ・ 川と遊ぼう大和川クラブ
- ・ 好っきやねん大和川大阪4区サミット（住之江区）
- ・ 好っきやねん大和川大阪4区サミット（住吉区）
- ・ 好っきやねん大和川大阪4区サミット（東住吉区）
- ・ 好っきやねん大和川大阪4区サミット（平野区）
- ・ ならコープ
- ・ 日本下水文化研究会関西支部
- ・ 万葉飛鳥川長寿散歩の会
- ・ 大和川市民ネットワーク
- ・ 大和川釣り人クラブ
- ・ 大和川水辺の楽校協議会
- ・ 大和川天然アユ研究会
- ・ 愛知産業大学大学院造形学研究科建築学専攻（修士）橋本夏次
- ・ 大阪市立大学大学院工学研究科都市系専攻環境水域工学研究室
- ・ 近畿大学大学院農学研究科環境管理学専攻水圏生態学研究室
- ・ 近畿大学大学院総合理工学研究科環境系工学専攻環境材料学研究室
- ・ 摂南大学大学院工学研究科社会開発工学専攻水辺環境創出研究室
- ・ 奈良女子大学ホテル同好会
- ・ 大阪市環境局
- ・ 大阪府環境農林水産部
- ・ 奈良県土木部河川課
- ・ 大和川水環境協議会
- ・ 大和川河川事務所